

農業・農村の現状と課題

安足地域は、本県の南西部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、都心から70km圏という地理的優位性ととも、東北縦貫自動車道と北関東自動車道が接続するなど交通網が整備され、人や物の交流拠点として、さらなる発展可能性を有しています。

地勢的には、渡良瀬川沿岸に広がる平坦な地域と足尾山地の山々を背に広がる中山間地域に区分され、平坦な地域においては、古くから二毛作による米・麦づくりが行われるとともに、足利市が「栃木県いちご発祥の地」として知られるなど、いちごやトマトなど園芸品目の栽培が盛んであり、園芸を核とした複合経営も広く行われています。最近では、アスパラガスやトルコギキョウ等の新品目の生産も拡大しています。

さらに、国道50号線や佐野フルーツライン沿線においては、なしや桃の果樹生産が盛んであり、観光農園や直売活動も活発に行われています。

また、中山間地域においては、美しい農村景観や豊かな食文化など魅力ある地域資源を有しており、農村レストランや直売所等の活動を通じた都市住民との交流が盛んに行われ、これらの施設で加工・販売されるそばや露地野菜等の生産も進んでいます。

しかしながら、管内では、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の発生や鳥獣被害の拡大、さらには農村コミュニティの低下など多くの課題を有しており、農業生産の維持・拡大や地域資源を活かした農村活性化の取組が求められています。

項目	単位	H22	H27
総農家数	戸	6,096	4,864
販売農家数	戸	3,106	2,318
基幹的農業従事者数	人	3,716	2,812
65歳以上の農業就業人割合	%	65	70
耕地面積	ha	6,920	6,610
1戸当たり耕地面積 ※	ha	1.14	1.36
耕作放棄地面積	ha	455	431
※ イノシシによる農産物被害額	千円	7,849	17,122

1戸当たり耕地面積＝耕地面積／総農家数

(出典)総農家数・販売農家数・基幹的農業従事者数・65歳以上の農業就業人割合、耕作放棄地面積：農林業センサス

耕地面積：農林水産省「耕地面積統計」

イノシシによる農産物被害額(H26)：県農政部調べ「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」